



SDGsシンポジウム 富士市から 「世界を変える、はじめかた」

日時：令和2年10月31日（土）13:30～15:35

会場：オンライン（Zoom）にて開催



ZoomはPC、スマートフォン、タブレット端末で使用できるビデオ通話サービスです。

富士市は、令和2年7月17日、SDGs未来都市に選定されました。
SDGs未来都市として、持続可能な未来を共想・共創していくため、
シンポジウム 富士市から「世界を変える、はじめかた」を開催いたします。

SDGsの最先端の取組を共有・認知し、
市民や市民団体、学生、企業の皆様と行政が力を合わせて、
行動に移すためのきっかけ作りにしようと考えています。

どうぞ、奮ってご参加ください。

定員：500人（応募者多数の場合、市内在住・在勤者優先）

参加費：無料

申込：10月16日（金）までに市ウェブサイトから電子申請するか、
必要事項を記載し企画課にEメールを送信してください。
後日、メールでZoom会議URLをお知らせします。

連絡：富士市役所総務部企画課 電話 0545-55-2718
Eメール so-kikaku@div.city.fuji.shizuoka.jp

主催：富士市（一財）自治総合センター

後援：総務省 地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム（内閣府）
富士商工会議所 富士市商工会 富士市社会福祉協議会
（株）講談社「FRaU × SDGs プロジェクト」

協力：富士コミュニティエフエム放送（株）



'18年12月、女性誌としては世界で初めて一冊丸ごとSDGsを特集したことで話題に。出版界におけるSDGsのトップランナー。



詳細は企画課ウェブサイトをご覧ください。



富士市から 「世界を変える、はじめかた」



13:30～14:25 第一部 パネルディスカッション「世界の課題と取り組みを識る」

世界各国の取組やビジネス、女性へのメッセージをご紹介します、富士市のアクションのヒントにしています。

【パネリスト】 藺田綾子氏 吉高まり氏 関 龍彦氏 【コーディネーター】石川淳哉氏



株式会社クリーン
代表取締役 藺田綾子

1988年、女性を中心にしたマーケティング会社クリーンを設立。1995年、日本初のインターネットウィークリーマガジンを立ち上げ、編集長となる。そのころから、環境・CSRビジネスをスタート。現在は㈱セブン&アイ・ホールディングス、明治ホールディングス㈱、ユニ・チャーム㈱など延べ約650社のCSRコンサルティングやCSR報告書の企画制作を支援。NPO法人サステナビリティ日本フォーラム事務局長、一般社団法人日本UNEP協会理事、環境省 持続可能な開発目標(SDGs)ステークホルダーズ・ミーティング構成員などを務める。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
経営企画部副部長
吉高まり

IT企業、米国投資銀行等に勤務。ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院(現)科学修士。2000年三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)にてクリーン・エネルギー・ファイナンス部を立ち上げ。環境金融コンサルティング業務に長年従事。ESG投資及びSDGsビジネスの領域で多様なセクターに対しアドバイス・講演・調査等を実施。三菱UFJ銀行戦略調査部、MUMSS経営企画部兼務。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科非常勤講師。UN Women - WE EMPOWER Japanアドバイザー・グループメンバー、環境省中央環境審議会地球環境部会臨時委員等の政府委員も務める。2020年5月より現職。



講談社
FRaU SDGs編集長
関龍彦

'87年 株式会社 講談社入社。『Vivi』『FRaU』の編集者を経て、'97年日本初のビューティ専門誌『VOCE』創刊メンバーに。'04年より6年間同誌編集長。'09年にはVOCEのTV版『BeauTV～VOCE』(テレビ朝日)をスタート。'10年より4年間『FRaU』編集長。現在『FRaU』編集長 兼 プロデューサー。'18年12月に発売した『FRaU SDGs 世界を変える、はじめかた。』が、女性誌としては世界で初めて一冊九ごとのSDGsを特集したことで話題に。その後も継続的にFRaU SDGs特集号を刊行する、出版界におけるSDGsのトップランナー。



FRaU SDGs
共創プロデューサー
石川淳哉

株式会社ドリームデザイン代表取締役。一般社団法人助けあいジャパン共同代表理事。世界のさまざまな社会課題を解決するために、クリエイティブの可能性を追求する人生と決断したソーシャルグッドプロデューサー。主な仕事に、書籍『世界がもし100人の村だったら』『2002FIFA WORLD CUP PUBLICVIEWING IN TOKYO』ピースアートプロジェクト『retired weapons』、311復興情報配信プロジェクト『助けあいジャパン』などがある。自宅に太陽光発電を導入、EV車にシフト。富士山麓で、完全無農薬自産友消費野菜生産中。

14:30～15:10 第二部 事例紹介「日本の事例と先進事例を識る」

まちを挙げてSDGsに取り組み、成果を生み出している先進自治体事例を紹介します。



神奈川県横浜市

世界最大級の人口を抱える基礎自治体・横浜市を支える中間支援組織 ヨコハマSDGsデザインセンターは、どうやって生まれたのか？



福岡県北九州市

高度経済成長期には公害問題に苦しんでいた工業都市北九州市が、環境都市として世界をリードし、SDGs先進都市を目指すのはなぜ？



富山県富山市

「持続可能な付加価値創造都市」を目指す富山市が、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりに取り組むのはなぜ？



徳島県上勝町

上勝町は人口1,545人(2015年国勢調査)。少子高齢化が進む四国で一番小さな町上勝町が全国から注目されるきっかけは？

15:15～15:35 第三部 富士市から「世界を変える、はじめかた」宣言

富士市は、令和2年7月17日、SDGs未来都市に選定されました。

SDGs未来都市として、富士市から「世界を変える、はじめかた」を宣言します。

※SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。



富士市長
小長井 義正